

じ ん な い

八王子市議会議員

無所属

100%市民派

陣内やすこ

と

暮らしやすい 八王子を



八王子で暮らし、4人の子どもを育ててきました。

子ども文庫、PTA、生協活動、そして自然出産の普及や生産者と一緒の共同購入活動などを通じた、ひととの出会い、自然への感謝は私の原点です。また、女性であるがゆえの職業継続の難しさに直面し、いろいろな仕事をしてきました。

いま、格差社会が広がり、多くの人が生活の不安を感じています。女性が、子どもが、若者が、高齢者が、そして障がい者が大切にされていない！そんな社会を変えたいと、4年前に立候補し、地方自治に政党はいらない、と無所属で活動してきました。さらに暮らしやすい八王子を目指してがんばります。この4年間でまた種をご一緒に大きく育てていきませんか。

ブログ <http://jinnai.ne.jp>

八王子市議会レポート

No.26 2007年3月10日

会員募集中

つくる、つくろう通信



編集：陣内やすこと明日の八王子をつくる会／発行：市民自治の会

〒192-0912 東京都八王子市絹ヶ丘2-11-7 TEL 042-636-8158 FAX 042-636-8640

E-mail jinnaiya@mbk.nifty.com URL <http://homepage3.nifty.com/jinnaiya/>





育てよう！ いのち・みど

ひとり人が大切にされる教育環境整備に取り組みます。少人数学級の実現を求めます。障がいがあってもなくても、一緒に学べる学校づくり・統合教育をすすめます。

市民の声

普通学級でみんなと一緒に学びたい。でも、適切なサポートがえられない。

農業・林業を生かしたまちづくりをめざします。地産地消をすすめることで、市民と農業をつなげます。学校給食に顔のみえる安全な地場野菜の提供をすすめます。

必要な人が必要なサービスを使えるよう、介護保険の充実を求めます。市民の実情にあったサービスをつくりだします。中学校区にひとつ、介護の相談拠点を。

●市役所
市民が主役！自治基本条例をつくらう
●JR八王子

●高尾

障害者自立支援法の見直しを求めます。障がい者も地域で働き暮らせるまちをつくります。

市民の声

JR西八王子駅構内での障がい者ショップが始まった。しかし、場所代として売り上げの23%を支払わなければならない。何とかならないか。

*JR東日本の障がい者雇用率はクリアしているとのことだが、さらなる理解を求めます。

ごみを燃やさず、発生抑制に取り組みます。まず、生ごみの堆肥化、資源化を進めます。できることから、多様なごみ減量の取り組みで、ごみゼロ宣言を行おう。

HACHIO

私たちのめざす未来

環境・100年先への責任

- ・三多摩一周、緑の遊歩道を
- ・車優先社会にNO！自然破壊の圏央道はいらない
- ・玉川上水・分水や用水の保全、復活を
- ・里山・はけ・雑木林・屋敷林・湧水の保全を
- ・多摩産木材を使おう 奥多摩の再生を
- ・おいしい地下水が飲める環境を
- ・地産地消、食の地域内循環を
- ・ホントは危ないエコセメントはいらない
- ・ごみは埋めない、燃やさない、まずは発生抑制
- ・夜は暗く、光害より省エネ
- ・地域分散の自然エネルギーで温暖化防止

- ・無駄な公共事業・ハッ場ダムは中止を
- ・東京オリンピックはいらない

子どもは未来

- ・子どもも社会の一員、子ども権利条例を
- ・子育ては社会の仕事、保育園、学童保育、支援センターの充実を
- ・のびのび遊べるプレイパークを
- ・お年寄り子どもが楽しく交流できる場を
- ・障害のある子ども地域の学校へ、統合教育の推進

みんな違ってみんないい

- ・ハンディは個性だ、障害があってもあたりまえに暮らせる社会を

- ・性的少数者の人々の保障を
- ・ジェンダーフリーな社会に
- ・多文化共生のまちへ、外国人市民会議を

平和が一番

- ・三多摩から軍事基地をなくそう
- ・軍隊はいらない、自衛隊は災害救助隊に
- ・武力で平和は守れない、無防備都市宣言を地域から

心安らぐまちに

- ・人が集うコミュニティ道路の復活を
- ・景観条例でスローなまちづくりを
- ・監視カメラはいらない

・安全
・地
・議
・一
・議
・情
・市
・地
・官
・若
・定

り・平和を



議員特権をなくし、
開かれた議会
(①自由に討議する議会
②市民も参加できる議会
③透明性のある議会)
をめざします。
情報公開を徹底します。

*陣内やすこは議会
改革をすすめる自
治体議会改革
フォーラムから推
薦を受けました。

●JR小宮

平和が一番。
憲法9条を
世界へ発信します。
自治体から平和外交を
すすめます。

北野

●南大沢

女性も男性も
子育てできる働き方を。
そして、安心して
子どもを産み育てられる
環境を八王子に
作りだします。



陣内やすこのプロフィール

- 1949年 新潟県柏崎市生まれ。福島市で育つ。
- 1960年 東京都杉並区に転居。
- 1965年 公立小・中学校を卒業。
- 1968年 都立西高校を卒業。
- 1972年 東京女子大学文理学部社会学科卒業。
八王子市絹ヶ丘に住む。
- 1973～81年 東京都衛生局に勤める。子育てをしながら仕事を続ける。
- 1981～84年 福岡市でくらす。子育てサークルをつくる(保母資格取得)。
- 1984～97年 八王子市北野台に住む。PTA活動や「ほんものの食べものを守り育てる会」「女性と地方自治を考える会」などの市民活動を行う。フリーライターとして仕事をする。出産、女性の中から、健康、水問題、人権などの記事を書く。
- (1987～88年) イギリスのマンチェスターに家族と住む。現地の教育、保育制度、社会システムを体験する。
- 1997～02年 東京ウィメンズプラザに非常勤職員として勤める。
- 2003年～ 無所属市民派で初立候補・当選。現在1期目。
(2004年) 法政大学大学院政策科学専攻修士課程修了。

八王子市北野台4丁目在住
元 八王子市立高嶺小学校世話人会代表
元 八王子市立中山中学校杉の沢会運営委員長
生活クラブ生協組合員

一緒に
活動して
います

「虹と緑の500人リスト・運動」
市民自治をめざす三多摩議員ネット
みどり三多摩
八王子手をつなぐ女性の会
八王子平和市民連絡会 など

全地域は人々の賑わいから
伝統文化やストリート文化の育成
社会・みんなの自治

議員特権をなくす
部事務組合等の市長や議員の二重報酬廃止
議員年金の廃止、年金は一元化
情報公開の徹底で、開かれた行政と議会を
市民が主役、住民投票条例を
硬通貨でまちの自立へ
でも民でもなく市民事業の拡大を
市民の声を政治に、選挙権、被選挙権を18歳に
外国人に参政権を

人間らしい暮らし方・働き方

- ・ 幸せはお金では買えない、物質的な豊かさだけを追い求めない暮らし方
- ・ 定年延長しなくても暮らせる年金と社会
- ・ 勝ち組負け組ナンセンス、やり直しのきく社会
- ・ 同一労働・同一賃金、働き方を選べる均等待遇
- ・ 職住接近、地域に働く場を
- ・ 暮らせる最低賃金を
- ・ 若者が働きやすい環境整備を



「いのち みどり 平和」を語る

川田龍平

トーク
トーク

陣内やすこ



川田龍平（薬害エイズ訴訟原告）
格差がひろがっている今こそ、ひとり一人の命と人権の大切さが求められています。一緒に顔の見える政治をつくりだしましょう。



陣内やすこ（八王子市議会議員1期目）
無所属市民派で2003年初立候補し当選。地方自治に政党はいらないとの思いで、しがらみのない活動を実践。現場の声を議会に届ける。

2007年3月21日(木)14時～ 北野市民センターホール

主催：陣内やすこと明日の八王子をつくる会 / 連絡先：みんなの居場所 (042-636-8158)

私たちが陣内やすこさんを応援します

●衛藤幹子

(法政大学法学部教授)

今、地方議員に最も求められているのは、特定の団体や個人のためにではなく、あらゆる市民のために働くことです。

陣内やすこさんは、まさにこうした資質を備えた人です。



●阿部昭三

(日本ペンクラブ・作家)

●小竹雅子

(市民福祉情報
オフィス・ハスカップ)

●辛 淑玉

(人材育成コンサルタント)

●福士敬子 (都議会議員)

●矢島床子 (矢島助産院)

●山田 真

(八王子中央診療所小児科医)

最近のブログ記事より

いよいよ始まります 3月議会(2月28日～3月29日)

予算の総括質疑は9日、12日、13日の3日間です。テレビ放映もありますので、時間が決まりましたら、お知らせいたします。ぜひ、見てくださいね。

6日に記者発表された、2007年度の一般会計予算(案)は、1671億円で、前年比4.7%増です。市税収入77億円の増ですが、2007年6月の市税納付から、一律10%と税源移譲が行われることや、定率減税の廃止など税制改正によるもので、景気回復による市民税や法人税の伸びはそのうち20億円程度です。

主な事業費として
JR八王子駅南口再開発事業 17億3404万円
ヒヨドリ山有料道路無料化事業 2億2000万円
道の駅整備運営費 1億8000万円
(建設に8億あまりかかっている)

小・中学生対象の医療費助成制度の創設
1歳から6歳までの乳幼児医療費助成の所得制限全廃
などです。

特別支援教育の実施ということから、教育の観点から分析していく予定。

今回の予算に対して、市長は「次世代創造型予算」といっています。

皆さんが考える次世代創造のイメージをぜひ、お聞かせください。